

AINウィスカーアイを活用した絶縁性高熱伝導樹脂材料の開発

株式会社三幸 × 名大・宇治原先生

○背景・概要

モバイル通信機器やパワー半導体等で発生する
熱問題 → 高熱伝導樹脂材料の需要

○「AIN（窒化アルミニウム）ウィスカーアイ」
の活用

樹脂等に少量添加することで高い熱伝導を実現
→ 热伝導率12W/mkを達成

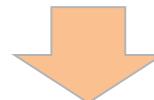
AINウィスカーアイ添加
高熱伝導樹脂ペレットAINウィスカーアイ添加
高熱伝導塗料および塗膜

○大学の技術シーズを活用した新事業開発

株式会社三幸は、自社の強みである部材・製造装置技術を活かせば、宇治原先生のAINウィスカーアイと言う新材料の工業製品化、事業化をスピーディーに進めることができると考えた。



AINウィスカーアイ製造装置



テクサポネットを活用！

名古屋大学・宇治原先生が開発した「AIN
ウィスカーアイ」を社会実装すべく、新会社を立ち
上げ！
→大学のシーズ技術を生かした新事業展開をし
たい株式会社三幸と、技術の社会実装を求めて
いた宇治原先生が、テクサポネットを通じ
てお互いのニーズがマッチ。

*名古屋大学発ベンチャー



AINウィスカーアイ

株式会社三幸
前田 取締役

テクサポネットでは、大学との共同研究による課題の解決や新製品開発などの技術的なサポートに留まらず、様々な新事業開発リソースの相談もできます。

名古屋大学
宇治原 先生

企業との共同研究において一番大事なのは、共感することだと思います。
そのためには、まず、腹を割って話すこと。そこからすべてはじまると思います。